



北朝鮮情勢と今後の見通し

～国連制裁が続けば、政治・経済ともに厳しい状況に～

黒岩 達也

ポイント

- 9月11日の安保理決議では、北朝鮮の貿易や人的往来を厳しく制限
- 昨年の実質成長率は3.9%と堅調だったが、今年は干ばつ被害や国連による経済制裁で厳しい状況に
- 金正恩政権が核・ミサイル開発の放棄を宣言しない限り、金正恩政権は崩壊する可能性大

1. 国連決議で北朝鮮は一段と厳しい状況に

9月11日、国連安全保障理事会（安保理）は、北朝鮮への追加制裁を全会一致で採択した（図表1）。

対北朝鮮輸出では、18年以降、原油輸出の年間上限を200万バレルに設定して、従来から約3割削減するほか、輸入面では従来の制裁と合わせて輸入の9割強を遮断する。

特に、中国は北朝鮮にとって、最大の貿易相手国であるが、中国政府は国連決議を待たずに8月下旬以降、繊維製品の禁輸を実施していたとの観測もあり、従来に比べて本気モードの対応をしている。

実際、16年に北朝鮮から中国に輸出された繊維製品は輸出全体の22.4%を占めており、先行して禁輸が決まっていた石炭・鉱物は全体の55.8%を占めた（図表2）。これだけでも、北朝鮮の対中輸出の78.2%を占めることになり、外貨収入は大幅に減少する。加えて、韓国統一省によれば、北朝鮮は中国、ロシアを中心に最大で14.7万人の出稼ぎ労働者を国外に派遣しており、年間10億ドル超が国家に上納されていたが、今回の決議でこれら労働者の契約延長が禁止された。

2. 16年の実質GDP成長率は3.9%

韓国銀行の推計によれば、ここ数年、北朝鮮経済は比較的堅調に推移しており、16年の実質

（図表1）国連安保理の制裁決議の概要

北朝鮮への原油輸出は過去12か月分を年間上限とする。
北朝鮮への石油精製品の輸出を18年以降は年200万バレルに制限する。
北朝鮮への天然ガス液や超軽質原油の輸出を禁止する。
北朝鮮からの繊維製品の輸入を禁止する。
北朝鮮からの出稼ぎ労働者への労働許可証の付与を禁止する。
朝鮮労働党中央軍事委員会など3団体の資産を凍結する。

（備考）新聞報道などより作成

（図表2）中国の主要品目別の対北朝鮮貿易（16年）

	中国の輸出				中国の輸入			
	品目	金額 (千ドル)	構成比 (%)	前年比 (%)	品目	金額 (千ドル)	構成比 (%)	前年比 (%)
1	合成繊維の長繊維の織物	175,718	5.5	27.1	石炭、練炭、豆炭	1,180,940	44.8	12.5
2	貨物自動車	147,244	4.6	36.2	男性用スーツ、ジャケット、ズボン	157,673	6.0	4.2
3	石油・同製品	114,995	3.6	-1.3	男性用コート、アノラック類	152,225	5.8	-9.7
4	大豆油・同製品	98,110	3.1	-5.6	軟体動物(生鮮・冷蔵・冷凍)	140,667	5.3	88.6
5	りんご	81,967	2.6	112.6	女性用コート、アノラック類	135,450	5.1	3.8
6	電話機及びその他の機器	67,157	2.1	-9.8	女性用スーツ、スカート、ズボン	91,630	3.5	-5.4
7	モニター、プロジェクター、テレビ	63,202	2.0	5.9	鉄鉱	74,411	2.8	2.3
8	コンピュータ類	60,854	1.9	23.5	鉛鉱	61,518	2.3	22.2
9	ゴム製空気タイヤ	59,180	1.9	11.1	亜鉛鉱	50,867	1.9	149.0
10	メリヤス織物	59,112	1.9	25.2	ナッツ類	49,806	1.9	17.4
11	Tシャツ、肌着	47,562	1.5	48.0	Tシャツ、肌着(メリヤス編、クロセ編)	49,630	1.9	-40.2
12	陶磁製鐘錶用品、タイル	39,548	1.2	-4.9	甲殻類	42,423	1.6	54.8
13	プラスチック製の床用敷物	36,448	1.1	32.9	トラックスーツ、スキースーツ	41,532	1.6	-29.9
14	紡織用繊維の織物類	35,897	1.1	9.6	亜鉛の塊	39,514	1.5	541.3
15	魚(冷凍)	34,322	1.1	-6.2	マグネサイト、マグネシアクリンカー	25,089	1.0	-0.8
16	鉄・非合金鋼フラットロール(メッキ済)	33,600	1.1	16.9	トランスフォーマー、コンバータ	24,056	0.9	17.8
17	窒素肥料	33,042	1.0	84.3	鉄鉄、スビーゲル	22,226	0.8	-32.9
18	プラスチック製版、シート類	31,744	1.0	10.5	銅鉱	20,868	0.8	32.1
19	鉄・非合金鋼フラットロール(熱間圧延)	29,192	0.9	8.8	フェアラロイ(合金鉄)	18,469	0.7	37.8
20	家具・同製品	28,162	0.9	24.1	女性用スーツ、スカート、ズボン(メリヤス編、クロセ編)	14,542	0.6	36.0
	輸出総額	3,192,031	100.0	8.3	輸入総額	2,634,400	100.0	6.1

（備考）JETRO 資料より作成

（図表3）北朝鮮の実質成長率（16年）

	名目金額	構成比	実質伸び率
農林水産業	7,144.1	22.3	2.5
鉱工業	11,428.7	35.7	6.2
鉱業	4,790.4	15.0	8.4
製造業	6,457.9	20.2	4.8
公益事業	1,192.5	3.7	22.3
建設業	2,608.7	8.2	1.2
サービス業	9,561.6	29.9	0.6
政府サービス	6,904.4	21.6	0.6
その他サービス	2,657.1	8.3	0.5
GDP	31,996.6	100.0	3.9

（備考）韓国銀行『Gross Domestic Product Estimates for North Korea in 2017』より作成

GDP成長率は前年比3.9%増と、99年(6.1%)以来の高い伸びを記録した(図表3)。

産業別にみると、公益事業が前年比22.3%増と大幅に伸びたが、これは水力発電所や火力発電所の建設によるところが大きい。また、鉱業も同8.4%増と、石炭、鉛、亜鉛の生産が好調だった。

さらに、人民の生活を支える農林水産業も同2.5%増となるなど、安定した経済運営が金正恩政権の後ろ盾となっていた、とみられる。

ただ、17年の北朝鮮経済は、農業が深刻な干ばつに見舞われた上、国連決議の影響で、上半期の対中石炭輸出が前年比54%減少するなど、厳しい状況に陥っており、16年とは様変わりしている。その上、今回の国連決議が着実に実行されれば、経済は麻痺状態になる。

従来、北朝鮮を擁護してきた中国も今回の決議に対しては本気モードで臨んでおり、北朝鮮は国際社会から完全に孤立してしまった。

3. 対話が戦争か

今回の国連決議は、経済封鎖に近く、これに北朝鮮がどこまで耐えられるかが焦点である。

今後の動向に関しては、3つのシナリオが考えられる(図表4)。第1は、最終的に核・ミサイル開発の放棄を宣言し、経済再建を目指す、というシナリオである。この場合、金正恩体制が残る可能性が高い。

第2は、人民軍によるクーデターが起こり、金正恩体制が崩壊し、人民軍による統治下で、社会・経済の建直しが図られることになる。この場合、日本人拉致被害者の問題も大きく進展する可能性がある、と思われる、

第3は、米韓が先制攻撃する可能性である。北朝鮮は、韓国などを攻撃し、必死で反撃する。

ここで、最近、注目されているのは「電磁パルス攻撃」である。「電磁パルス攻撃」とは、高高度(30~400km)で原水爆を爆破し、地上のあらゆる電気回線を過電流にして破壊するものである。

電磁パルスは爆発から一定期間で消失するが、なんら対策がなければ、その前に各種オンラインや家電製品などが破壊されてしまう。

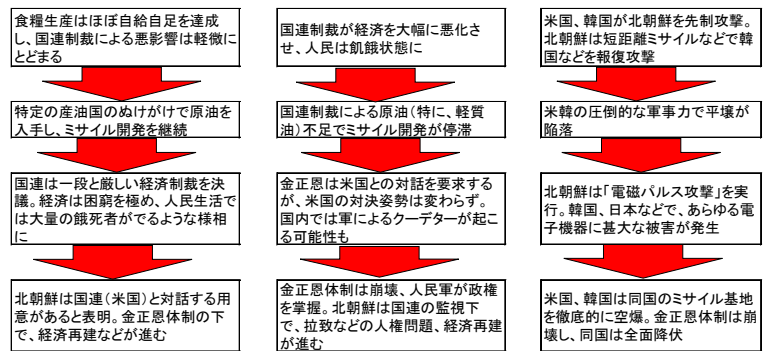
北朝鮮の原水爆がミサイルに搭載できるほど小型化されていることが前提となるが、現状の同国のロケット技術(図表5)を勘案すれば、「電磁パルス攻撃」は日本、韓国のほか、中国、ロシアの一部に被害をもたらすと予想される。

また、原水爆を直接投下するよりも人的被害もほとんどなく、敵対諸国に対して大きな社会・経済にダメージを与えることが可能という点で、北朝鮮にとっては1つの選択肢であろう。

ただ、最終的には米国の圧倒的な軍事力の前に北朝鮮は降伏し、金正恩体制は崩壊するであろう。

以上

(図表4) 今後の北朝鮮をめぐるフローチャート



(備考) 新聞報道などより作成

(図表5) 北朝鮮のロケット射程距離



(備考) 阿波新聞網『朝鮮導弾技術究竟発展何種階段』より作成